

蘭越町戦没者追悼式



先の戦争により亡くなった方々のご冥福を祈り、恒久平和を祈念する「平成29年度蘭越町戦没者追悼式」が8月7日午前10時から遺族、来賓など約90人が参列し、山村開発センターで執り行われました。

追悼式には、参列者全員で黙祷を捧げ、金町長から「あの苛烈を極めた先の大戦において、祖国を思い、家族を案じつつ、南方の灼熱の地や酷寒の異国の地において、壮烈な戦いに傷つき、飢えや病に苦しみながら、多くの方が帰らぬ人となりました。また、内地においても、激しい空襲により、多



くの尊い命が失われました。戦没された方々の祖国発展への思いを深く心に刻み、明日を生きる世代のために、この平和な社会を守り抜く不断の努力をしてまいります。」と式辞を述べ、富樫町議会議長、富永後志総合振興局くらし・子育て担当部長、福村蘭越町遺族会長らが追悼の言葉を送りました。

続いて、参列者全員により献花が行われ、遺族、来賓をはじめ、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校の児童生徒も献花台に花を手向け、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対し哀悼の誠を捧げました。

火災予防 啓発品を寄贈



羊蹄山ろく消防組合消防署蘭越支署では、8月21日、蘭越消防後援会（金子敏昭会長）から火災予防啓発品の寄贈を受けました。

寄贈された「啓発用トイレットペーパー」400個と「救急車や消防車の消しゴム」500個は、今後の啓発活動に有効活用させていただきます。

長年の清掃ボランティアに 感謝状を贈呈



長年、町内の道路沿いのごみ拾いをボランティアで行っている井内勇さん（昆布町）に対し、8月4日、金町長から感謝状が贈呈されました。

長年、昆布地区で国道沿いの清掃活動を毎日行っていた先人に感銘を受け、ごみ拾いを始めてから数年、今も通勤途中にある空き缶などを出勤前や勤務後に拾ったり、冬期間は、除雪作業の邪魔にならないよう、休みの日を利用して日中、ごみ拾いを行っています。

「あと何年続けていけるかわかりませんが、私と同じ気持ちをもって引き継いでくれる人が出てくると信じています。」と述べていました。

ボランティアの輪がどんどん広がることを期待します。

地域貢献に感謝状の贈呈



7月29日、公共施設（目名地区生活改善センター、高齢者生活福祉センター）めな、リンリン公園キャンプ場）の駐車場区画線（白線）をボランティアで引き直し、地域貢献された株式会社保工北海道（小室邦彦代表）に対し、8月7日、金町長から感謝状が贈呈されました。

地域貢献に感謝状の贈呈

7月24日に尻別川河川公園せせらぎ水路内に堆積した土砂や雑草の除去作業をボランティアで実施され地域貢献として公共施設環境の美化に努められた蘭越建設協会（協力会社 株式会社日野・株式会社長澤電気・株式会社ナカジマ・高橋建設株式会社・株式会社菅原組・株式会社増田建設・株式会社福島建設・北山測量設計株式会社・石田産業株式会社・有限会社長澤設備・佐藤建設株式会社・荒谷建設）に対し、8月10日、金町長から感謝状が贈呈されました。

